





会長 鈴木 武

新年あけましておめでとうございます

会員皆様には日頃より協会運営及び支部事業に対し、格別のご協力とご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年もコロナウィルスは収束せず、7月から8月にかけて第7波、そして冬を迎える時期には感染者が増え、インフルエンザの流行も心配されています。一方、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済への影響、円安による消費者物価高騰と不安な年でありました。

そのような中で、当協会事業では、11月に建物の管理技術研究会を人数制限はあるものの開催しました。

今回の題材では、PPP(官民連携)にスポットを当て、市町村における入札案件が民営化されることの我々にとっての懸念について勉強会を第1部で開催し、第2部は、少子高齢化における労働力を確保のための外国人実習制度の実態や問題点について学ぶ研究会を開催しました。ビルメン業界では外国人技能実習制度により、ベトナム、タイ、フィリピン、ミャンマーなどから既に来日しており、インドネシアからも受け入れる体制が整備されつつあります。

一方、国内労働力の取り合いの時代でもあります。思うように採用が進まず、一番に人員が不足しているとの実態があります。

社会保障においても令和4年10月からは雇用保険料の料率が9.5/1,000から13.5/1,000と従業員と事業主負担が変更となるほか、10月より週20時間勤務者も社会保険加入義務が課されました。

このように会社経営における利益が減少する要素もあります。

また、インボイス制度や電子帳簿保存法など会社における多くの課題もあり経営の難しさが増しております。今日、DX(デジタルトランスフォーメーション)が叫ばれておりIoTやAI、ロボット実用化などの研究開発が進んでいます。

11月には神奈川県警備業協会が創立50周年を迎え、式典、懇親会が開催されました。当協会は2014年に50年が経過し、2024年には、創立60年を迎えることとなります。

長きに亘り協会が存続できたのは、日本が敗戦した昭和20年以降の戦後の復興を支えた先輩方が会社を創業し、企業の成長と業界の発展のための不断の努力の賜物であり、現在2代目、3代目の時代となりました。今を生きる我々が忘れてはいけないことは、先達の努力があって今日があることであります。

会社経営、協会運営においては、楽しい時間よりも苦勞する時間のほうがより長い時間であることです。どのようにすれば業界や企業が成長できるか考え、決断と実行、改善の繰り返しであります。

今年は役員改選の年となります。会員皆様には協会運営に積極的に参加して支えていただきたいと考えております。結びに本年が会員皆様の企業が良い年となりますようご祈念申し上げてご挨拶とさせていただきます。

リンレイ

作業効率と回収力を両立した
カーベットスイーパー

アップライトバキュームを
超える回収力を実現
※新開発ブラシアジャストシステム採用

大容量バッテリー搭載
※連続稼働時間4時間を実現
作業省人化が可能

RCS-400

登場。

作業時間65%短縮
※オフィスビル共用通路での
アップライトバキュームとの比較

作業負担軽減
※ショッピングモールでの
アップライトバキュームとの比較

株式会社 リンレイ 業務製品事業部

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座4-10-13
TEL 03(3541)4851(代) <https://www.rinrei.co.jp/>

プロが欲しがる仕上がり感

究極の一層仕上げ

超高濃度樹脂ワックス

ポリース ユシロンコート

グロススペック27



神奈川県知事 黒岩 祐治

新年、明けましておめでとうございます。

今年は、昨年と同様、行動制限のない年始を迎えることができました。

現在、新型コロナウイルスは重症化リスクの低いオミクロン株が主流となっています。また、ワクチンの普及や治療薬の開発も進んでおり、新型コロナを取り巻く環境は変わりつつあります。

こうした中、昨年9月からは全国で「全数届出の見直し」が実施され、新型コロナ対策は新たな仕組みに移行しています。この見直しは、一般医療とのバランスを取りながら、新型コロナ対策に取り組んでいく「出口戦略」の第一歩として重要な意義を持つものです。

今後は、この新たな仕組みの下で、新型コロナとの共存を前提に「持続可能な医療提供体制」を構築していきたいと考えています。そして、県民、事業者の皆様のご協力をいただきながら、新型コロナ対策と社会経済活動との両立が図られるよう、しっかりと取り組んでまいります。

また、昨年は、県議会の議決をいただき、「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」を制定しました。

これまでの障害福祉は、障害者の「安全のために」という考えで支援が行われてきましたが、それは支援する側の目線によるものでした。そうではなくて、本来は当事者の目線に立った支援が必要なのではないでしょうか。

それが、津久井やまゆり園事件から始まった「ともに生きる社会」を目指す流れの中で、私たちがたどり着いた結論でした。そして、県議会で全会一致で条例が成立したことは、障害福祉の世界においても、また県政運営においても歴史的な出来事だと思っています。しかし、条例制定はゴールではありません。ここからがスタートです。今後は、この条例の内容を県民の皆様と共有するとともに、実効性のある取組を推進してまいります。

この条例を礎に、障害者も含めた県民、事業者、行政が連携し、一体となった取組を展開することで、「ともに生きる社会かながわ憲章」の実現につなげていきたいと考えています。

このほか、脱炭素社会の実現、人口減少下における次世代育成など、様々な課題にも取り組んでいかなければなりません。

一般社団法人神奈川県ビルメンテナンス協会の皆様には、引き続き、県政へのご理解とご協力をお願いいたします。皆様にとりまして、新しい年が笑顔あふれる明るい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

自動体外式除細動器

AEDレンタルサービス実施中!!

AEDは救命処置のための医療機器です。AEDを設置したら いつでも使用できるように 消耗品の有効期限などを日頃から点検する事が重要です。

取扱い上の注意

- AEDは医療機器です。医療機器の適正使用を図るために、必要な情報を提供する目的で作成された製品に同梱されている添付文書を一読ください。
- 不測の事態が発生した時及び譲渡時(高度管理医療機器等販売業の許可業者に限る)、廃棄時には、当社まで速やかにご連絡ください。

オムロン自動体外式除細動器
レスキューハート HDF-3500
医療機器クラス分類
高度管理医療機器 特定保守管理医療機器
選任製造販売業者 オムロンヘルスケア株式会社
医療機器承認番号 22700BZ100047000

Sanikleen
株式会社 サニクリーン東京

本社 川崎市宮前区犬蔵 2-18-12 Tel.(044)977-1515(代)
<http://www.sanikleen-tokyo.co.jp>

Renew the World

世界の人々の暮らしに思いと勇気をもたらす。いぬのいのちを大切に育てる。

大和堂薬所に任.ま.る。...

シー・アイ・エス株式会社

ビルメンヒューマンフェア & クリーン EXPO 2022 建物の管理技術研究会



神奈川労働局長 西村 斗利

令和5年新年のごあいさつ

令和5年の新春を迎えるに当たり、一般社団法人神奈川県ビルメンテナンス協会及び会員の皆様には、謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、日頃から労働行政の推進に多大なる御理解と御協力を賜っておりますことにつきまして、厚く御礼を申し上げます。

貴会では、昨年は新型コロナウイルスの影響を受けつつも、労働安全大会や労務研修会の開催などの活動を積極的に展開され、ビルメンテナンス業における労働災害防止や労働環境の改善に向けた啓発活動に大変御尽力をいただいていることに心から感謝申し上げます。

神奈川労働局におきましては、今年度の行政運営方針の重点施策として、ウィズコロナ・ポストコロナ時代に対応した雇用維持・労働移動等に向けた支援、多様な人材の活躍促進、そして、誰もが働きやすい職場づくりなど、コロナ対策に重点を置き、雇用調整助成金をはじめとする各種助成金の支給や様々な就職支援、労働環境の改善に向けた取組等を実施しております。

さて、令和4年11月末現在のビルメンテナンス業における当局管内の労働災害発生状況を見ますと、死亡者は2人と、前年同期比で1人の増加となり、休業4日以上死傷者数は234人と前年同期比で10人の減少となりました。事故の型別では、「転倒」が最も多く、ビルメンテナンス業の全労働災害の40パーセント以上を「転倒」が占め、年齢別では、50歳以上の年齢層が全労働災害の8割に達しました。このように、依然として「転倒」が多く、高年齢労働者の割合が高いという傾向が続いております。「転倒」の要因は、周囲の環境などの外的要因のほか、身体機能の低下などの内的要因が関係するとされております。一般的に高齢化により体力や平衡感覚などが低下することを踏まえると、高齢化の進展は「転倒」に密接に関係し、「転倒」を減らすためには、益々、高年齢労働者の特性に応じた安全衛生活動が重要になると考えられます。

このような傾向は他業種でも同様であるため、当局では、第14次労働災害防止計画の推進に向けて、「STOP！転倒災害プロジェクト神奈川」の取組を進めるとともに、「エイジフレンドリーガイドライン」（高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン）の幅広い周知に努めてまいります。

労働環境の改善に向けた取組でございますが、本年4月から中小企業においても月60時間を超える時間外労働の割増率が50%に引き上げとなるため、これらの周知や支援を進めてまいります。

令和2年6月から大企業を対象に先行して適用された、改正労働施策総合推進法は昨年4月より中小企業に適用され、職場のパワーハラスメント防止措置が全企業を対象に義務付けられました。これらにつきましても、当局では引き続き、中小企業・小規模事業者に対する周知・支援を進めてまいります。

正社員と非正規雇用労働者との間の不合理な待遇格差を解消する同一労働同一賃金につきましては、パートタイム・有期雇用労働法に関する説明会に加え、当局委託事業の「神奈川働き方改革推進支援センター」も活用して、県内企業の多くを占める中小企業・小規模事業者の同一労働同一賃金への対応を支援してまいります。

令和3年6月9日に公布された、改正育児・介護休業法につきましては、男女とも仕事と育児を両立できるように産後パパ育休制度の創設や雇用環境整備、個別周知・意向確認の措置の義務化など、昨年4月から本年4月にかけて3段階での施行となることについても、県内企業への周知や必要な指導等を行ってまいります。

神奈川県最低賃金につきましては、本年度は31円引き上げられ、昨年10月1日から、時間額1,071円に改定されました。改定額の周知と最低賃金がしっかりと守られるよう取組むとともに、中小企業・小規模事業者に対する各種支援策の利用勧奨にも努めてまいります。

以上のように、労働行政として取り組むべき課題は多岐にわたりますが、今後も「すべての人がいきいきと働けながわを目指して」をスローガンとして行政運営を展開してまいります。本年も、皆様方の御理解、御協力を賜りますよう、改めてお願い申し上げますとともに、貴会及び会員の皆様のますますの御発展と御健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



（公社）全国ビルメンテナンス協会と、（一社）日本能率協会が主催する、国内最大級のビルメンテナンス専門展示会である「ビルメンヒューマンフェア & クリーン EXPO2022」が10月26日（水）から28日（金）までの3日間、東京ビッグサイトで開催され、のべ9796名が来場しました。

清掃、衛生に関する資機材が一堂に展示されるため、多くのビルメンテナンス関係者が新製品のチェックや比較、導入のための商談に毎年来場します。今年は特別企画として、人手不足、後継者不足、人件費の高騰、高齢化問題など、ビルメンテナンス業各社が共通して抱える課題に対し、共に具体的な課題解決策を探る場として、「ビルメンお悩みスッキリ！横丁」が初開催されました。製品実演コーナーや、社労士無料相談コーナーに加え、「トイレ清掃」「障害者雇用」「求人」「清掃ロボット」といったテーマの悩みにスッキリ答えるトークセッションも開催され、多くの方が参加されました。

今回は2023年11月15日（水）から17日（金）に開催予定です。



建物の管理技術研究会



令和4年11月18日（金）川本工業ビル7階において「第18回建物の管理技術研究会」が開催されました。

今回の研究会は総合テーマを「～明日のビルメンテナンス業を考える～」として、第1部では、多くの地方公共団体にとって厳しい財政状況や人口減少が進む状況下、公共施設等の老朽化などに適切に対応するため、行政と民間が連携して公共施設の建設、維持管理、運営等を行う新しい契約手法となるPPP（官民連携事業）をテーマとし、契約制度検討委員会の杉崎委員長より「県内自治体におけるPPPの取り組み状況」の活動報告と株式会社日本経済研究所のPPP推進部の萩原利香様より「～今後、生き残れる会社 減じる会社～」という議題でご講演をいただきました。

第2部では、少子高齢化に伴う人口減少により深刻な課題となっている人材不足に対応する外国人材雇用をテーマとし、外国人雇用及び新技術検討委員会の矢野委員長より外国人材に関するアンケート結果の報告と大津副委員長による東海ビルメンテナンスグループの外国人材の雇用と教育の事例紹介の発表がありました。また、外部講師の株式会社エイムソウルの代表取締役 稲垣隆司様をお招きし「失敗しない外国人採用」という議題でご講演をいただきました。

今回の研究テーマはビルメンテナンス業界が抱えているタイムリーな課題であり、会員企業が共に学び、情報を共有していくことが非常に大切なことだと感じました。（取材：広報委員会 高橋）

人手不足解消の為の商品をご提案

商品販売・リース・レンタル・施工 信頼と実績で対応

Pro Shop Wako 和光商事株式会社

本社／〒243-0201 厚木市上荻野 285-1
TEL(046)241-1203 FAX(046)241-4507
横浜店／〒221-0021 横浜市神奈川区子安通 3-247-1
TEL(045)442-0265 FAX(045)442-0266

Li-ion コードレスマシンで未来を創る！

Smart & Power by Li-ion

Clean Innovation Company
ペンギンワックス株式会社

本社・工場 〒537-0021 大阪府東淀川区中津3-10-14 TEL06(6873)9151
東京支店 〒165-0021 東京都千代田区丸の内1-27-6 TEL03(3387)8381
URL <http://www.penguinwax.co.jp>

お客様の声を製品化したオリジナル清掃用品多数あります

株式会社 サコ

本社／〒135-0046 東京都江東区牡丹 2-12-4
TEL(03)3632-1255 (代) FAX(03)3642-5766
横浜営業所／〒234-0046 横浜市港南区港南台 4-39-2
TEL(045)830-5850 (代) FAX(045)830-6810

消防用設備等の確実な点検を！！

点検を終了したら
全国共通ラベル
の貼付を！

〒231-0023 (一財) 神奈川県消防設備安全協会
横浜市中区山下町1番地 シルクセンター4F 408号室 TEL.045-201-1908

アビリンピック神奈川 2022

アビリンピックとは



「全国障害者技能競技会」(通称アビリンピック)とは、障害がある方々が、日頃培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々に障害のある方々に対する理解と認識を深めてもらい、その雇用の促進を図ることを目的として開催されています。技能競技には、洋裁、フラワーアレンジメント、PCプログラミング、建築CAD、オフィスアシスタント、ネイル施術といった多岐にわたる25競技があります。

中でも、ビルクリーニングは、その技術が観客にわかりやすく、応援も華やかで、毎年盛り上がる競技の一つとなっています。(残念ながら、今年は感染症予防対策のため、観客を入れたり応援をしたりすることは中止されています)

アビリンピック神奈川 2022



アビリンピック全国大会の予選となる、アビリンピック神奈川2022は、10月15日(土)に関東職業能力開発促進センター会場と、10月29日(日)に神奈川障害者職業能力開発校会場で開催され、9競技46名の選手が参加しました。ビルクリーニング競技のため、神奈川県ビルメンテナンス協会障害者雇用推進委員会メンバーが、資機材の搬入、会場の設営、競技運営、試験官としての採点・講評、資機材撤収、搬出と多岐にわたる役を担っていました。12名の参加選手が日頃培った技能を存分に発揮し、金賞を受賞した選手は令和5年に開催される第43回全国アビリンピックへ神奈川県代表選手として出場することとなりました。



委員会メンバーは神奈川県選手の技術レベル向上のため、選手へ指導する先生方への講習の開催や、代表となった選手へのさらなる指導とサポートも行っています。ビルクリーニング競技は神奈川が発祥であることもあり、「この競技のことをより多くの会員企業の方々に知っていただき、参加選手を増やして盛り上げていきたい」とのことでした。(取材:広報委員会 的場)



令和4年度海岸清掃 青年部全国大会

令和4年度海岸清掃

令和4年10月8日(土)に三浦海岸にて青年部会主催の海岸清掃を開催しました。

数日前から天気が不安定の中、当日は快晴にはなりませんでした。雨は降らずに無事に開催することができました。新型コロナの影響で久しぶりの海岸清掃になりましたが、会社の仲間や家族など42名の方に参加いただきました。

参加者それぞれが広大な三浦海岸(その一部ですが)を約1時間かけてゴミ拾いを行い、集積所に集まってその成果を確認。以前と違いたばこの吸い殻や花火のごみが減っていましたが、空き缶・ペットボトルやプラ包装、木材・バケツ・バーベキューのごみなどが捨てられていました。

ゴミ拾いが終了した後は、感染症対策をしっかり行い参加者全員で懇親BBQを行いました。

普段は仕事でうちにいない人は家族サービスをしたり、参加者同士で交流を深めたり等、限りある時間でしたが楽しく終了しました。参加された方々ありがとうございました。

また来年以降も開催を予定していますのでより多くの方に参加していただきたいと思います。



青年部全国大会

令和4年10月20日(木)21日(金)兵庫県神戸で行われた「第25回ビルメンテナンス青年部全国大会 IN 兵庫」に部会長 山本卓 副部会長 田熊勝弘 幹事 山本領矢の3名で参加してきました。

当日、まずは全国部会長会議が行われ昼食を食べながら各県の部会長や代表者の挨拶がありその後、各県の活動についてや全国大会開催の意義などを議論しました。

第1部講演会では、株式会社ビケンテクノ代表取締役会長 梶山高志氏による「ビルメンテナンス史 いままでと。これからと。」というテーマでご講演頂きました。

第2部講演会は、第62次南極地域観測隊員 伊達元成氏による「南極で体験した地球気候変動と二酸化炭素」というテーマでご講演頂きました。



そして大会式典が行われ全国大会が終了しました。

休憩のあとは会場を移動し感染症防止対策を行い、盛んに懇親会が開催されました。

懇親会では各テーブルに様々な県の部会員がセッティングされ各地の仕事事情などを話しながら親睦を深めました。